

南三陸町社会教育関連施設長寿命化計画(令和6年3月)《概要版》

～概要～

南三陸町では、町が保有している公民館やスポーツ施設、民俗資料館などの社会教育関連施設を適切に維持管理していくため、社会教育関連施設の現状や課題から、点検や維持管理の基本方針、各施設の方針などを作成し、「南三陸町社会教育関連施設長寿命化計画」にとりまとめました。

1. 背景・目的

公共施設等総合管理計画の具体化に向けた取組みを推進するにあたり、公共建築物について、中長期的な視点から、施設保有量の適正化と長寿命化、財政負担の軽減を図るための計画的な改修・建替えを実施する必要があります。

本計画は、公共施設等総合管理計画の対象施設のうち、社会教育関連施設における改修・建替えなどの必要な事業の洗い出し、優先順位づけ等を行うことで事業実施の有無や実施時期を適切に判断し、着実な事業実施が可能となる整備方針を示すことを目的とするものです。

2. 計画期間

昨今の建設部材費や人件費の高騰を考慮し、計画期間を令和6(2024)年度から令和15(2033)年度までの10年間とします。ただし、計画期間内であっても上位計画の見直しや社会情勢の急激な変化等により、必要に応じて適宜見直すものとします。

3. 対象施設

対象施設は以下の13施設となっています。

No.	施設名称	建物名称	建設年度	延床面積(m ²)	構造階数
1	生涯学習センター		2018	1,781	S1※
2	入谷公民館		2020	401	W1
3	戸倉公民館		2000	2,438	RC2
4	歌津公民館		2017	500	S1
5	郷土文化保存伝習館		1980	324	RC2
6	民俗資料館		1951	515	W2
7	魚竜館		1990	45	RC1
8	スポーツ交流村		1998	5,991	RC2
9	平成の森	緑の館	1990	332	W2
10		長期滞在施設等	1994	2,037	RC2
11		更衣室・トイレ棟(一墨側)	1990	74	S1
12		更衣室・トイレ棟(三墨側)	1990	59	S1
13	林際町民プール		1989	64	S1

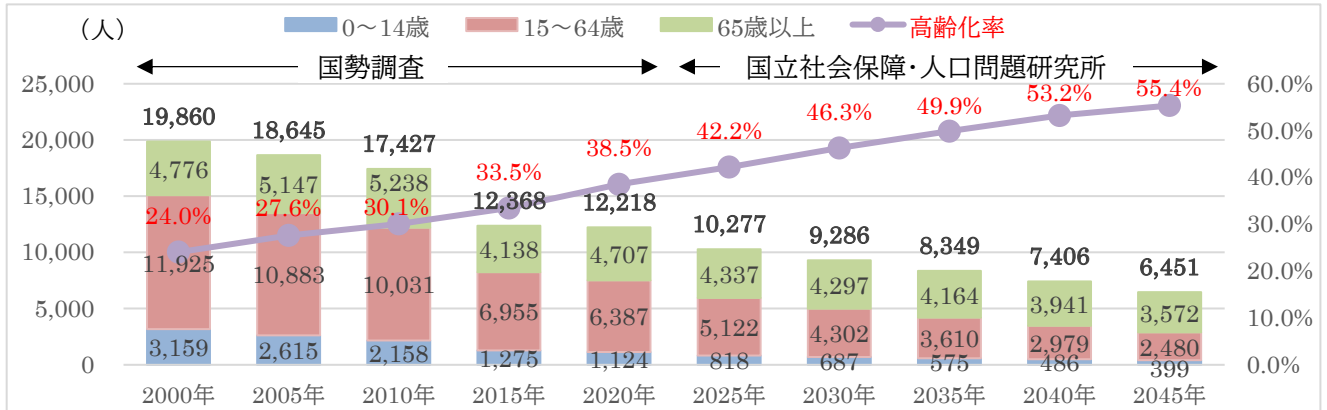
※一部木造

4. 社会教育関連施設を取り巻く現状

(1) 人口の推移

国勢調査によると、本町における人口は平成 12(2000)年から令和 2(2020)年の 20 年間で 7,642 人(38.5%)減少しています。特に平成 22(2010)年から平成 27(2015)年の間には東日本大震災があり、人口が大きく減少しています。

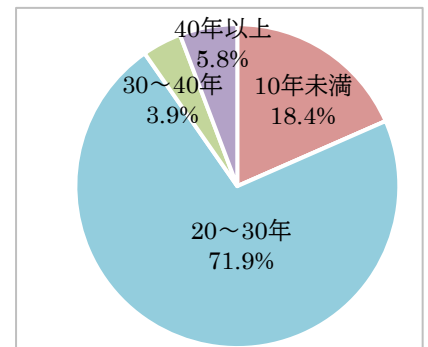
また、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、令和 2(2020)年以降の人口も減少傾向にあり、令和 27(2045)年には 6,451 人になる見込みとなっています。



(2) 施設の保有状況

本計画の対象となっている施設の経過年数別延床面積は、築 20～30 年が最も多い 71.9%、次いで 10 年未満が 18.4%となっています。

また、大規模改修が必要な築 40 年以上を経過している施設は 5.8%となっています。



(3) 老朽化の実態

①屋根、②外壁、③開口部、④内部、⑤基礎・外構、⑥設備の 6 項目について目視調査を行い、「概ね良好」を表す a から「著しい劣化」を表す d までの 4 段階で評価をしました。さらに、部位別評価を基に最も劣化が著しい場合が 100 点、最も健全である場合が 20 点として、全体評価(劣化度の算出)を行いました。

施設名称	評価項目						劣化度
	屋根	外壁	開口部	内部	基礎外構	設備	
生涯学習センター	a	a	a	a	a	a	25.0
入谷公民館	a	a	a	a	a	a	25.0
戸倉公民館	a	b	a	a	b	a	32.4
歌津公民館	a	a	a	a	a	a	25.0
郷土文化保存伝習館	b	c	c	c	c	b	66.2
民俗資料館	d	d	d	d	c	c	95.6
魚竜館	b	a	a	a	a	b	33.8
スポーツ交流村	b	b	c	c	b	c	61.8
平成の森	緑の館	a	c	c	b	b	58.8
	長期滞在施設等	b	c	a	c	c	57.4
	更衣室・トイレ棟(一塁側)	—	b	b	b	b	50.0
	更衣室・トイレ棟(三塁側)	—	b	b	c	a	53.8
林際町民プール	b	b	b	b	b	b	50.0

5. 維持管理の方針

建築物は多くの部位・設備機器によって構成され、その耐用年数はそれぞれ異なりますが、年数が最長である構造躯体の耐用年数を建築物の目標使用年数とみなし、構造別に左表のとおり設定します。

構造種別	長寿命化	目標使用年数
鉄筋コンクリート(RC)造	対象	80年
	対象外	50年
鉄骨(S)造	対象	80年
	対象外	50年
木(W)造	対象	60年
	対象外	30年

6. 各施設の方針

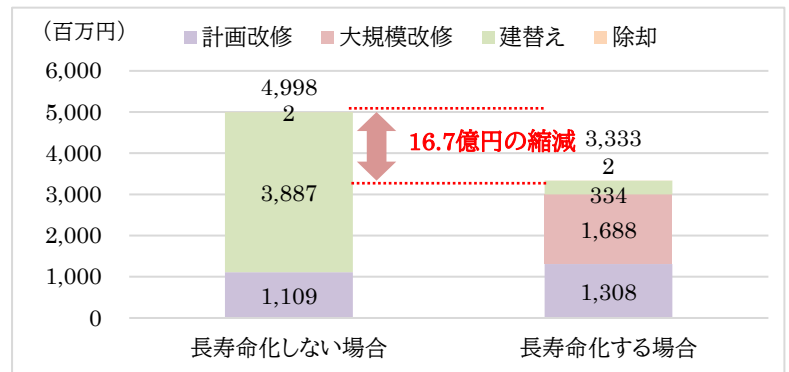
各施設の方針は以下のとおりとなっています。

方針	施設名称
予防保全型管理(長寿命化)	生涯学習センター、入谷公民館、戸倉公民館、歌津公民館、スポーツ交流村、平成の森(緑の館、長期滞在施設等)
事後保全型管理	郷土文化保存伝習館、魚竜館、平成の森(更衣室・トイレ棟)、林際町民プール(廃止)

※民俗資料館は文化財であることから活用方法を検討の上、別途位置付ける必要があります。

7. 長期的な事業の見通し

長寿命化しない場合にかかる30年間の事業費は50.0億円、長寿命化する場合が33.3億円となっており、30年間で16.7億円(年間5,600万円)の縮減効果が確認できました。



8. 優先順位の考え方

改修の優先順位は以下の通り、高い順から「利用者の安全に関する事業」「施設の老朽化対策に関する事業」「設備の質や環境に関する事業」とし、「施設運営の支障改善事業」では、部材の製造が一部廃止されたスポーツ施設照明のLED化などが挙げられます。

優先順位の考え方	対象事業	優先順位	事業項目の例
緊急性を要する事項	利用者の安全に関する事業	1	落下危険性のある損傷に対応する事業
		2	耐震診断・改修事業
施設の長期利用に要する事項	施設の老朽化対策に関する事業	3	施設運営の支障改善事業
		4	長寿命化に資する事業
		5	改修サイクルからの経過年数が高い事業
		6	劣化度が高い事業
		7	建設年度が古い事業
現状の修繕・改善に要する事項	設備の質や環境に関する事業	8	空調設備改修やLED化、トイレの洋式化など
		9	事後保全型管理に資する事業

9. 実施計画

優先順位の考えに基づき作成した実施計画は以下のとおりとなっています。

事業計画(1/2)

施設名称	2024年度	既存事業	耐震診断	LED化	(千円)
		計画改修	大規模改修	建替え	
		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
生涯学習センター					
入谷公民館					
戸倉公民館					
歌津公民館					
郷土文化保存伝習館					
民俗資料館		2,000			
魚竜館					
スポーツ交流村	310,000	50,000			
平成の森(緑の館)			41,658		
平成の森(長期滞在施設等)				202,537	202,537
平成の森(更衣室・トイレ棟(一塁側))					
平成の森(更衣室・トイレ棟(三塁側))					
平成の森(野球場屋外照明塔)		55,000			
林際町民プール					
合計	310,000	107,000	41,658	202,537	202,537

事業計画(2/2)

施設名称	2029年度	2030年度	既存事業	耐震診断	LED化	(千円)
			計画改修	大規模改修	建替え	
			2031年度	2032年度	2033年度	合計
生涯学習センター						0
入谷公民館						0
戸倉公民館					180,190	180,190
歌津公民館						0
郷土文化保存伝習館						0
民俗資料館						2,000
魚竜館						0
スポーツ交流村		595,681	595,681			1,551,362
平成の森(緑の館)						41,658
平成の森(長期滞在施設等)						405,075
平成の森(更衣室・トイレ棟(一塁側))						0
平成の森(更衣室・トイレ棟(三塁側))						0
平成の森(野球場屋外照明塔)						55,000
林際町民プール						0
合計	0	595,681	595,681	0	180,190	2,235,285

※耐震診断は条件により費用が大きく前後する可能性があります。また、耐震改修の費用は見込んでいません。

※民俗資料館は活用方法を検討の上、別途位置付ける必要があります。

※スポーツ交流村は内視鏡調査の結果を踏まえ、大規模改修の費用を見込んでいますが、どこまで実施するかは要検討。

※LED化は灯具(器具)を10年リースとした場合の概算費用を計上しています。

※戸倉公民館は内部改修実施済みの為、屋根・外壁改修のみの費用を計上しています。

南三陸町社会教育関連施設長寿命化計画<<概要版>>

発行 宮城県 南三陸町

編集 南三陸町教育委員会

〒986-0725 宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地

電話 0226-46-1341 (生涯学習センター内)

